

G 空間未来デザインプロジェクト

「地域課題を解決するための地理空間オープンデータを用いたハッカソン」開催実施報告

2014年12月20日(土)、21日(日)、カタリストBA(二子玉川)にて、「地域課題を解決するための地理空間オープンデータを用いたハッカソン」を開催しました。

このハッカソンは先に宮前区役所で行われたアイデアソンで生まれた22のアイデアを引き継ぎ、地理空間オープンデータを活用して川崎市・宮前区の課題を解決する、または魅力を向上させるためのアプリケーション・サービスを生み出す目的で行われたものです。

参加者数は84名。宮前区在住・在勤の方をはじめ、プログラマーやデザイナーなど多彩な才能を持つ方々が集まりました。

開発に当たり、アイデアソンで参加者の方に22のアイデアを分類した4つの領域を提示しました。

- ①坂ブランド宮前区 坂を楽しむ人が増える
- ②助け合いライフ宮前区 助け合って幸福になる人が増える
- ③つくるを楽しむ宮前区 農業や教育などに関わる人が増える、
- ④住民発魅力発信宮前区 住民発の情報を見て来訪者が増える、という内容です。

これら4つの領域を参考に参加者の皆さんが取り組みたいテーマを決めていただき、9つのチームに分かれてサービスの開発に取り組みました。

会場では地理空間オープンデータの活用等についてアドバイスを行う「データお助け隊」や、提供サーバ等技術的な問題について質問を受け付ける「ツールお助け隊」というヘルプデスクを設置し、参加者の方々の開発サポートも行いました。また、2日目には宮前区在勤の方々による「ユーザー・レビュー」を行い、サービス開発のアドバイス、意見交換の機会も設けました。

2日間、各チームが強固なチームワークで開発を行い、9つのアプリケーション・サービス案が創出されました。



1. 区長と仲間たち

駅前に電子マップとレンタル電動自転車を設置。ダウンロードしたアプリで提供される「直売所めぐり」「遺跡めぐり」などのコースに従って名所を巡ることができる

2. ぐるっと宮前バスプロジェクト

バス情報を統合、一元化して提供。現在地から目的地までのルートや所要時間、バスの接近情報を表示。農産物の情報やイベント情報も合わせて提供

3. 公園にいこう

公園情報×ユーザーの投稿情報の提供による「公園の多価値化支援システム」、将来的には公園や道脇のプランターに wi-fi planter を設置した水やりシステムの構築、市民で植物を植えて育てる「まちづくり」の促進、支援

4. Hillトレ使って、坂で元気に。

坂の勾配がひとめでわかるアプリで利用者の目的に応じたトレーニングコースを提供。イベントと組み合わせてアプリと宮前のPRも

5. じじばばウォッチ

高齢者が地域を見守るパトロール隊と連動、高齢者世代との交流を生み出す子ども向けゲームアプリ

6. 思い出坂のピンゴ

名所を巡ると名所カードをゲットできる仕掛けを備えた位置情報提供アプリ。ユーザーの思い出の投稿写真を共有するサービスも提供

7. 宮前カルチャークラブ

「この指とまれ」機能の提供。気軽に、素早くイベントの主催者と参加者のニーズのマッチングすることが可能に

8. 宮前農産物&ホッピー

実在する観光データとプラットフォームを組み合わせ、地図上に表示。住民による情報の投稿や企業の宣伝も可能

9. 渡る世間は坂ばかり

坂や農園など区内のスポットにまつわるクイズやミッションを提供。FB と連携、シェアも可能。学校と連携したイベントも開催

ハッカソンで創出されたアプリケーション・サービス案は各チームで引き続き開発を進めていただき、サービスの事業化、実用化を目指していただきます。展開として①行政支援により地域で広げる、②ビジネス化する、③自主的活動で展開する(クラウド・ファンディングを通じた事業化)を想定しています。

2月20日(宮前区役所)、21日(川崎市役所)で行われる「マーケソン」(マーケティングとマラソンを掛けあわせた、本プロジェクトオリジナルの造語)において、これら9つのアプリケーション・サービスを宮前区の関係者の方をはじめ、各種企業、団体、地方公共団体の方々に披露し、事業化、実用化の観点から評価、表彰を行う予定です。

